

えりも町議会 令和4年11月1日

議会だより

No.43



P2-3	令和3年度	一般会計決算
P4	令和3年度	決算審査報告
P5	令和4年度	補正予算ほか
P6	町との協議事項・決算質疑	
P7-11	一般質問6名 9件	
P12	「この人に聞く」	
	えりも高校	宝金楓夏さん

襟裳神社本祭で獅子舞う

9月23日、えりも岬地区襟裳神社の例大祭本祭が行われました。

あいにくの雨と風で短縮開催となり、襟裳岬突端の旧鎮座地に神輿を移し、安全・豊漁を祈願しました。

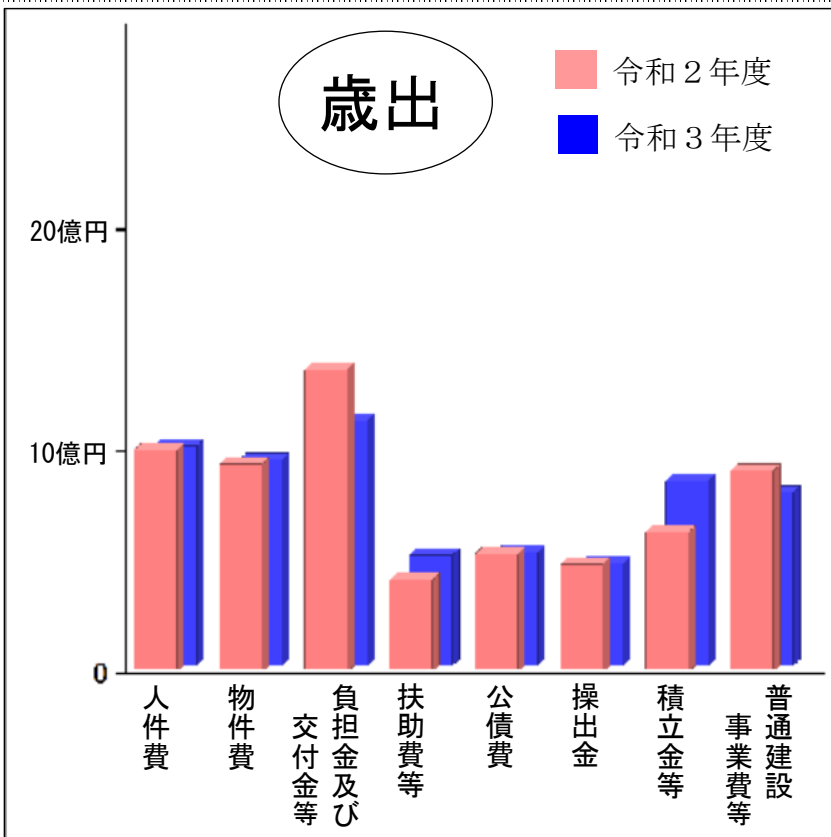
続いて、ひよっところが獅子を舞わせる襟裳神楽が披露され、多くの観客から拍手が起きました。

前年度と比べどのような変化があったのか検証してみました

一般会計歳出を前年度と比較すると 約1.85億円減少

令和2年度 歳出 63億 425万円

令和3年度 歳出 61億1909万円



減少の理由は

左のグラフから扶助費等と積立金等が増加しているものの、負担金及び交付金等と普通建設事業費等が減少しているのがわかります。(1万円未満四捨五入)

扶助費等 8015万円増加

新型コロナウイルス関連
子育て世帯・住民税非課税世帯等
特別給付金 1億945万円

積立金等 2億282万円増加

財政調整基金 4億1100万円
減債基金 ▲2億900万円

普通建設事業費等 1億2812万円減少

えりも小学校プール ▲4億5576万円
防災行政無線関連 2億3991万円
南東洋油駒線災害復旧工事 1684万円

総括

コロナ禍による各種給付金や小学校プール建設、防災行政無線整備など、令和2年度と3年度は通常の前年より財政規模が大きくなっています。これに伴い、町債残高もこの2年で約3億5000万円増加しました。

負担金及び交付金等 2億6067万円減少

特別定額給付金等 ▲3億6237万円
MICS事業等 7069万円
高規格救急自動車購入等 3137万円



東部3町のし尿等を受け入れるMICS施設が併設され、4月から処理を始めた浦河浄化センター



役場屋上に設置された防災行政無線のスピーカー

令和3年度一般会計及び6特別会計の決算が認定されました

一般会計歳入を前年度と比較すると 約2.7億円減少

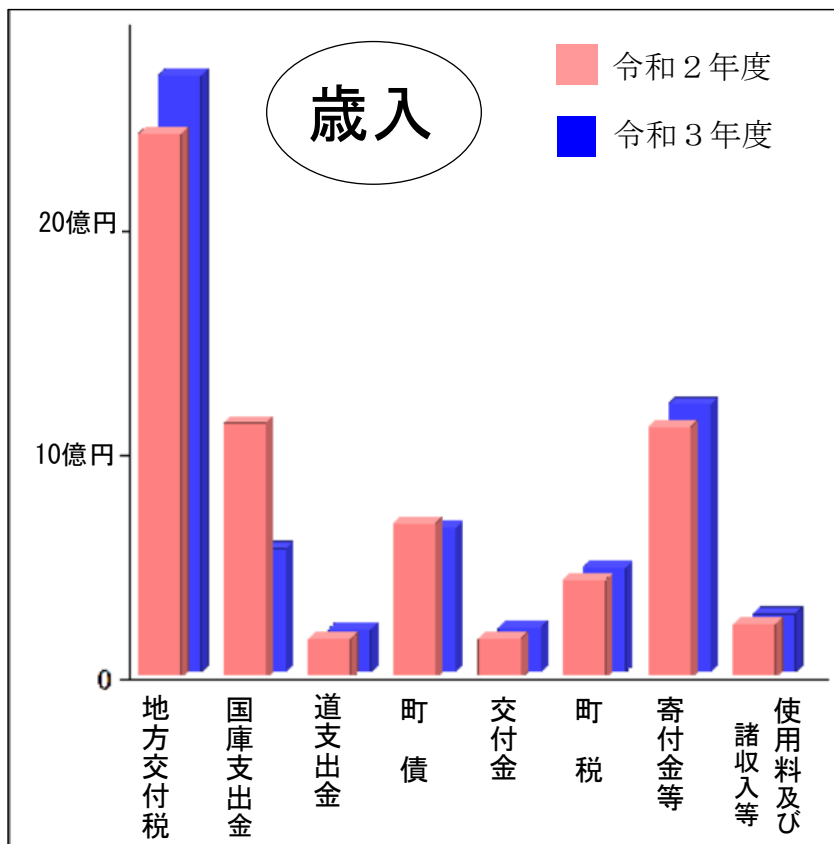
令和2年度 **歳入 64億6206万円**

令和3年度 **歳入 61億8869万円**

減少の理由は

右のグラフから地方交付税と寄付金等が増加している一方、国庫支出金と町債が減少しているのがわかります。

(1万円未満四捨五入)



地方交付税

2億3060万円増加

- 普通交付税 1億9673万円
地域デジタル社会推進費、臨時経済対策費等の創設
- 特別交付税 3387万円
赤潮対策経費及び有床診療所経費等

寄付金等

6924万円増加

- ふるさと納税寄付金等 ▲5638万円
- 繰越金 1億1739万円

国庫支出金

5億9247万円減少

- コロナ特別定額給付金 ▲4億5925万円
町民1人当たり10万円給付
- えりも小学校プール ▲1億924万円

町債

5075万円減少

- えりも小学校プール ▲3億4480万円
- 防災行政無線施設整備 2億4000万円

町の貯金は(積立金残高)

34億3999万円

財政調整基金が、5億9300万円積み増しされたことから、令和3年度末積立金残高は前年度より約5億8810万円の増加となりました。

町の借金は(町債残高)

49億5846万円

町債発行額は6億4727万円で、前年度より5000万円ほど減少したものの、元金償還金4億8881万円を1億5846万円上回りました。

監査委員、決算審査結果を報告

※決算審査意見書の中から一部抜粋し掲載

えりも町監査委員 小関孝雄
えりも町監査委員 笹谷廣喜

財政の推移及び収支の状況

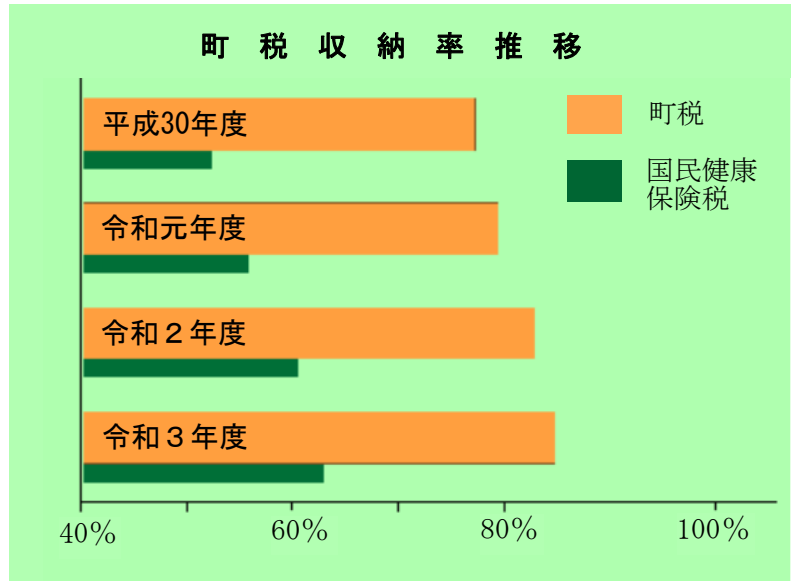
令和3年度の一般会計決算額は、対前年に比べ歳入4.2%、歳出2.9%の減となっている。歳入減の要因の一つに国庫支出金の減額があるが、これは令和2年度に実施された新型コロナウイルス感染症に伴う地方創生臨時交付金及び特別定額給付金の影響が考えられる。

収入未済額について

令和3年度末の一般会計収入未済額は1億1169万円となり、前年度と比較すると2067万円、15.6%の減となっている。さらに、国保・簡水・下水道・介護・後期医療を含めた収入未済額は3億2183万円となり、4923万円、13.3%の減となった。

令和3年度は、前年より続く新型コロナウイルス感染症を原因とした経済の低迷、さらに赤潮の影響も心配されたが、町税（国民健康保険税を含む）を中心として収納率が向上し、また各課で抱えていた収入未済額の不納欠損処理も進められ、前向きな取り組みの効果が表れたものと考えられる。

今後においても各課連携の上、収入未済額の縮減に向けて努力することを期待する。



総括

令和3年度決算では、令和2年度に引き続いて新型コロナウイルス感染症に関連した事業が行われたほか、防災行政無線工事のような大型事業が進められた結果、歳入、歳出ともに80億円を超える規模となった。しかし、そのような中でも財政調整基金を積み立てることができている。

ここ数年、世界規模の感染症の流行やロシアのウクライナ侵攻、町内では赤潮の発生など、想定外の出来事が続いているが、社会情勢の変化や行政課題を把握し、当町の持続的、安定的な成長と発展を目指して、今後も効率的かつ健全な財政運営に努めることを期待する。

令和3年度決算審議を終えて

決算特別委員会 委員長 高松亮裕



令和3年度の一般会計と6つの特別会計について審議を行い、終始活発な質疑応答が交わされました。その結果、全7会計の決算を認定採決し、続く本会議でも同様に採決されました。各委員、理事者、説明員の皆様には、審議の円滑な運営にご協力をいただき厚くお礼申し上げます。今年もあと3か月となりませんが、理事者におかれましては、この審議結果が後年度の予算編成や行政執行に生かされるよう期待するとともに、私たち議員も住みよいまちづくりを進めるため、なお一層の努力をする所存です。より多くご支援のほどをよろしくお願いいたします。



えりも町議会第4回定例会

補正予算

◎令和4年度 一般会計(歳出)

- ・高年齢者等冬期生活支援金 160万円
福祉灯油事業として一世帯に1万円を支給するもの
- ・高年齢者等生活支援金 328万8千円
コロナ禍における物価高騰等の対策として高年齢者世帯等の非課税世帯に1万2千円を支給するもの
- ・簡易水道特別会計繰出金 1500万円
物価高騰等に伴う生活支援と経済活動支援を目的とした簡易水道基本料金の減免に対する費用
- ・水産業振興費 400万円
8月中旬に町内の沿岸一帯に漂着した流木の処理費用
- ・水産業振興費 162万円
赤潮の影響を受けたとみられる真ツブ系巻貝の生態研究と調査に必要な設備費の助成
- ・映画製作推進費 650万円
企業版ふるさと納税の寄付金を製作準備委員会へ支出
- ・風の館管理運営費 2400万円
屋外天窓の窓枠補修塗装やガラス交換などの改修工事費用
- ・8月12日の大雨に伴う災害復旧
・河川維持費 129万7千円
・道路維持費 821万8千円
・道路新設改良費 750万円
えりも岬・大下線の改良工事費

議会として次年度の「政策」をまちに要望

- 1 灯台公園パークトイレスマイルの改築を
本トイレは悪臭が不快であり、加えて老朽化も顕著であるため、一刻も早い施設改築を。
- 2 電気自動車の充電設備の設置を
当町には電気自動車の充電設備がなく、観光と環境のため、早期に充電設備の設置を進めること。
- 3 町道えりも岬海浜線の整備を
本路線の通行量、そして昨今の大雨に対応するため、早期に整備を実施すること。
- 4 空き家住宅への解体費補助を
景観・観光面から、空き家の解消を進めるため、町内業者に解体を依頼した場合に解体費の助成を。
- 5 未婚者対象の交流会の開催を
 - ①以前行っていた婚活事業を企画すること。
 - ②かつて商工青年部が若者交流会を開いていたが、同じような企画が民間団体からあった場合に助成を。



町との協議事項

介護保険料の徴収誤りについて

1 概要

令和4年8月支給年金からの介護保険料特別徴収(天引き)について、年金を支給する厚生労働省年金局へ提供すべき徴収データが提供されていなかった(未送信)ことにより、徴収過大及び徴収不足が発生した。

2 経緯

8月年金天引き分で100件を超える過誤納金があることが判明し、原因を追及した結果、6月に算定を行った保険料のデータ200名分が、厚生労働省のデータに反映されていないことを把握。天引き額が町側のデータと一致せず、徴収過大及び徴収不足が発生した。

徴収過大及び不足の状況は次のとおり。 **徴収過大 124名・947,800円** **徴収不足 76名・532,200円**

3 原因

年度の前半と後半で、年金からの天引き額に差が生じやすい介護保険料について、より適正化するための算定であったが、担当者の事務遂行上に必要な手順の認識が完全でなかった点が挙げられ、2種類のデータを厚生労働省へ送信すべきところ、一方のデータのみの送信となったことによる誤りである。

4 町の対応

管理体制の不備により今回の事案が発生した。

町では、誤りの対象となった年金受給者に対し、丁寧な説明をしながら理解をいただき対応していきたい。

今回は町にとっても町民の信頼を失墜するような行為であり、二度とこのようなことがないように取り組んでいきたい。

決算特別委員会 質疑

9月16日、令和3年度の決算に対する質疑応答が行われました。多くの質疑がありました。内容を抜粋し掲載します。

シカ侵入防止柵

質疑(橋本)

毎年多額の維持補修費がかかっているが、これに対しての改善策はないか。

答弁(産業振興課長)

経年劣化もあり年々金額も大きくなってきているが、現状では全面改修が難しく、今後も継続して維持管理を続けていきたい。

教員住宅の管理

質疑(大坂)

今後の教員住宅の改善計画をどのように考えているか。空いている教員住宅は、町民が借りて利用することは可能か。

答弁(学校教育課長)

修繕計画を立て管理していきたい。また、一時的な利用であれば理由により貸し出しは可能である。

ふるさと納税

質疑(石川)

① どういうものに使われているか、ある程度公表してはどうか。
② いろいろな事業をふるさと納税に頼るのは危険性があると思うが。

答弁(産業振興課長)

① ホームページに掲載しているが、広報紙等を使い、町民に周知していきたい。

答弁(町長)

② 継続した事業に使用するのには厳しいと認識している。単年度事業に使っていききたい。

医師の任期

質疑(竹内)

3月末で契約が切れるが、来年度の継続の話し合いは行われているか。

答弁(診療所事務長)

安定した医療提供を継続するためにも、今いる医師に少しでも長く勤務してもらうよう交渉中である。

所管事務調査

産業民生常任委員会
委員長 高松亮裕
副委員長 渡部 泰
委員 大坂庄吉 竹内孝文 中野浩治
※ 内容は抜粋して掲載しています

調査日 令和4年10月6日(木)

赤潮被害の現状を調査

令和3年9月に発生した赤潮被害の現状など、担当課より聞き取り調査を行なった。

① 操業状況

漁獲量が少ないので出漁回数は減少している。ツブ類の令和4年4月から9月までを去年同期と比較すると、漁獲量で500トン、金額で約2億4000万円減少している。

② 環境状況調査

ツブ漁場での水中ドローン調査を複数回行い、数個の生存個体と死がいを確認しているが、大量への死は確認されていない。ツブかご投入による試験操業は、1回200個を投入し、1隻月2回の調査を実施し、1回につき0個～数個という状況である。

③ 水産多面機能発揮対策事業費の活用は

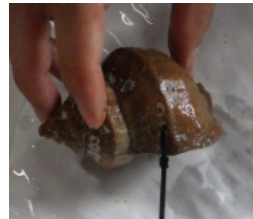
春頃に地元や道東地区からツブ類を買い上げ、再生産につなげるため、標識を付けて放流している。9月末現在18万個を放流し、計画目標は40万個である。今後、標識放流したツブのモニタリング調査を行う。

④ 来年度に向けた種苗の確保状況は

ウニの種苗は確保できる見込みである。
ナマコは現在、種苗生産試験を実施している。

⑤ ふるさと納税の寄付状況は(赤潮被害指定寄付)

北海道代理納付分	54件	369万円
令和3年度	1,062件	2521万円
令和4年度	247件	196万円(9月末現在)



ツブの殻に1個ずつドリルで穴を開け標識を取り付ける

一般質問

問 「事業者支援事業」対象者の拡大を



竹内孝文議員

答 支援範囲の拡大を検討

問 竹内 議員

6月定例会で、原油価格の高騰等に対応するため、町内に事業所がある一次産業事業者及び商工事業者に対し、支援することで議決されているが、

① 漁業者支援では採り昆布業者は支援対象であるが、拾い昆布業者は対象外である。拾い昆布業者を対象とする考えはないか。

② 商工業者支援では商工会等に加入していない個人事業者は制度の内容も分からず、支援が行き届かない恐れもある。個人事業者として事業申告している事業者を対象とする考えはないか。

③ 申請漏れが無いよう、広報折り込み等で本事業の周知をしてはどうか。

答 産業振興課長

① 船舶を使用しない

陸拾い昆布業者は対象外としたが、燃油高が当分続くと考え、陸拾い昆布業者も給付対象とするか検討したい。

② 本事業は商工会会員には周知され、再度、個人事業者に制度内容等の周知徹底を図りたい。

③ 改めて町広報折り込み等で事業の周知を図ってきたい。



荒波の中、長いかぎ竿で昆布をたぐり寄せる陸拾い昆布業者



橋本維応議員

問 防災士の活用は

答 災害時の活用は難しい

問 橋本 議員

災害の規模が大きいほど、消防等の公助による人命救助には限界がある。
切迫した状況では、共助による人命を守る行動が必要不可欠である。

答 企画課長

①現在、町内では2名の方が防災士の認証を受けている。
②他の自治体では、防災力向上の取り組みの一つとして、防災士の資格取得を奨励し、資格取得に要する講習料の一部を助成している。

り、その中心的役割を担えるものとして、防災士の存在がある。
防災や人命救助に対する知識、そして自ら学んで資格を取得する高い志と強い使命感を持つ防災士は、日ごろから地域防災を担う大切な人材であると思う。
①町内にいる防災士は把握しているか。
②災害対応に興味がある町民や学生などを対象に、防災士資格取得の推進、啓発を行うのはどうか。
③防災士の役割を災害対応時に組み込むことはできないか。

る。
しかし、資格を取得する方は、年配の方が多いことや、取得後に防災訓練等の支援活動への協力を求めている協力者が少ないなどの課題も多く、町としても現時点では、防災士資格の取得推進に積極的に取り組む予定はない。
③防災士は民間資格であり、法的根拠に基づき資格ではない。
平時の防災訓練等に機会があれば協力を願いたい。災害時に防災士の役割を組み合わせるのは難しいと考えている。

防災士の資格取得を推進して地域防災を担う人材の育成を



問 映画製作の状況は

答 2025年 劇場公開の予定

問 橋本 議員

映画「北の流水」(仮題)は、町民の関心も高いがコロナ禍で思うように進展しない状況に不安の声も聞かれる。
この映画は、えりもの良い宣伝になり、それに伴う経済効果も期待され、プラスに働く要素が多いと感じている。
町は一昨年より映画

製作の準備を進めているが、その進捗状況と今後の日程は。

答 企画課長

当初は2020年クランクインの予定だったが、コロナ禍で映画製作の支援要請活動が行えず、当初より遅れている。
現在の進捗状況は、映画製作資金調達のため、道内外の企業、個人版ふるさと納税でも協力をお願いし、今後総製作費3億5千万円のうち、2億円以上を4町で集めることを目指している。

また、8月に田中監督が来道し、準備委員会と協議を行い、2023年8月のクランクインを目指すことが確認された。
それに向けて、田中監督から「劇場映画『北の流水』(仮題)2022年9月、劇場公開までのロードマップ

プ」という行動スケジュールが示され、キャストの交渉や、年内には配給会社を決める予定であり、想定どおり進めば2025年に劇場公開という予定である。

今後も、民間組織の「映画『北の流水』を応援する会」や関係機関とも連携を図りながら、様々な機会を通して町民の方々にお知らせするなど、町内の機運を盛り上げながら進めていきたい。



「えりも砂漠」と呼ばれた当時の百人浜は、特有の強風も伴い過酷な環境が伺える



高松亮裕議員

路線バス利用促進の協議会設置を

まずは日高全域での公共交通計画を作成

問 高松 議員

全国的に路線バスの状況は非常に厳しい。人口減少やコロナ禍での行動自粛による利用者の減少、燃料高騰

のため赤字の拡大など廃線を余儀なくされる路線バスも増えている。日勝線の様似くえりも間も利用者は極端に少なく、過去に減便を打診されたこともあり今後も継続されていくのか不安が残る。えりも町、様似町、JR北海道バス、バス利用者、学識者等で構成する協議会を速やかに設置し、町民の利便性を確保しながら、収支を改善する方策を探っていくべきでは。

答 企画課長

現在、管内7町で「北海道日高地域公共交通計画」を作成中であり、この中には日勝線の様似く広尾間も含まれている。

今後、管内へ来訪実績のある方へのアンケートや実際バスへ乗車してのヒヤリング調査

再質問 高松議員

等も実施する予定で、まずは来年度の計画作成に向けて協議を行う。町民にも路線バスの厳しい状況を広く理解してもらい、通学や通勤に路線バスを利用、高齢者に低料金で利用できる「バスカード」の配布、利用者の新規開拓のための「運賃無料デー」の設定など、利用促進策を町民が参加して議論できる協議会の設置を強く望む。



えりも岬灯台付近を通過するJR北海道バス

避難訓練等での課題を公表すべき

他地域の避難訓練時や希望があれば出向いて説明

問 高松 議員

3月にえりも岬と庶野地区で避難訓練が実施され、6月には自治会ごとに防災ハザードマップの個別説明会が開催された。

個別説明会は平日の日中開催で、参加できた住民は限られていたため、この内容や得られた情報・課題等が自治会長会議や地区別町政懇談会で公表すべきではないか。なかなか進まない自主防災組織の結成や地域別・個別の避難計画の作成にも生かせるのではないか。また、要支援者の情報提供は進んでいるか。

答 企画課長

避難訓練は、今後、条件や方法を変えて他の地区での実施を検討しており、今回の内容等についても説明していきたい。

個別説明会は、9か所で開催し46名の参加があった。今回作成したハザードマップの中には、各地区の目安となる場所の最

大津波高、到達時間等を記載しており、参照いただきたい。また、希望があれば説明に伺いたい。要支援者の方々には、名簿公表の同意及び個別避難計画の作成を進めているが、作成完了次第、地域支援者へ情報提供していきたい。



近浦地区で開催されたハザードマップ個別説明会



中野公浩議員

福祉避難所に エアコンの設置を

答 早急な設置は困難

問 中野 議員

えりも高校は、津波など災害が発生した場合、避難所として活用されるばかりではなく、福祉避難所としても指定されている。避難する高齢者や乳幼児の熱中症対策として、エアコンを整備してはどうか。

エアコンを整備することで高校生も快適に授業を受けることができると思うが。

答 企画課長

えりも高校は、標高43・4mに位置し、平成29年に主として高齢者、障がい者、乳幼児等、特に配慮を要する方々を受け入れる福祉避難所に指定した。

災害時の避難所として、エアコン設置は将来的に必要と思うが、町内には津波の浸水想定地域外に、防災備蓄倉庫等が整備されていない地区もあり、それらを優先して整備していきたいと考えている。

答 高校事務長

高校で現在行っている暑さ対策は、既設の38枚の網戸に加え、特別教室や廊下などに14枚の網戸を新設し、さらに19台のサーキュレー

ターを購入し、より涼しい教育環境づくりに取り組んでいる。従って現在はエアコン設置の予定はないが、今後の気温上昇など、気候変動の可能性を踏まえ、他の高校の取り組みを参考に対策を実施していく。

答 教育長

一クラスの人数が多く、扇風機などで対策しきれない教室については、今後検討していきたい。



福祉避難所として指定されているえりも高校。近年の酷暑への対策が求められる

問 神田 議員

中央牧場の消臭対策については、12月定例会の一般質問の中で「施設や飼料の改善を実施」との答弁があったが、地域の方々からは解消されていないと言われている。その状況下で、町が



神田 修議員

地域住民に 消臭対策の明示を

答 説明会の開催などに対応

問 答

同牧場から得ている具体的な対応策を、親身になって地域の方々へ示すことが必要と考えるが。

答 産業振興課長

当牧場は完成当初から、東風が吹いた際には解消されていないと言われている。その状況下で、町が改善を要請してきた。牧場に確認したところ昨年、飼料の改良や悪臭の原因箇所の改善を実施したとの報告があった。

再質問 神田議員

臭気や水質測定の実施状況は。町にとって初の大規模農場は雇用創出の場でもあり、町民の理解の中での稼働が大切なことから、今後も状況を注視し、指導・要請を行っていきたい。

答 産業振興課長

水質検査は法定通り実施している。臭気については、視察した際にもあまり臭いを感じなかった千歳農場レベルまでにするよう要望している。



風向きによって周囲に悪臭がただよい改善が求められる大和地区 中央牧場



大坂庄吉議員

問 マイナンバーカードの普及は

答 更なる普及・促進に努める

問 大坂 議員

平成28年1月から本格
マイナンバー制度が

運用され、社会保障や税金の手続きなどの際にマイナンバーが用いられることになっていく。

住民にとっても、様々な手続きが効率化するとされている。

当町でも広報等で呼びかけをしているが、現状では義務ではなく任意のため、普及は伸びていないと思っ

ている。マイナンバーカードの普及は何パーセントくらいか。

答 町民生活課長

マイナンバーカードは、既にオンラインによる確定申告や一部の医療機関等では健康保険証として使用できるほか、今後、運転免許証との一体化など、順次、その用途が拡大されていくところである。

当町における交付率は、令和4年8月末時点で、町民のおよそ3

割に当たる29・2%となっている。

作成が義務ではないことも、全国的に交付率が低迷している一因

ではないかと認識しているが、町におけるデジタル社会を実現する

ためにも、他の自治体の取組事例も参考にしながら、カードの意義を幅広く周知し、普及・促進に努めていく。



普及促進のため休日も特設窓口を開設している

問 大雨による災害対応は

答 巡回パトロールで状況把握に努める

問 大坂 議員

近年、豪雨が多く発生している。通常の大雨と異なり、降雨量の予測が難しく、降雨時から道路の冠水、河川の増水、土砂災害と一気に流れ込むことにより発生する。

当町では、8月12日(13日)に土砂災害が各地域に発生したと聞かされている。

①土砂災害が何件確認されて、対応がどのようになっているか。

②町道の側溝など、増水に十分な対応はされているか、また、今後の取り組みは。

答 企画課長

①土木被害は、土砂崩れなど14件、水産被害が7件、軽微なもの5件の合計26件を確認している。

町で対応できるものは実施し、道が対応すべき箇所には振興局に対し要請している。

民有地に係る本格的な復旧は個人対応となるが、漁場を守るという観点から、町として北海道財務局など関係機関と協議を進めている。

答 建設水道課長

②基本的には1時間当たりの降雨量60ミリに対応できる整備を進めていきながらも、地形的な問題で雨水が集中しやすい箇所等は、側溝サイズを大きくするなど、十分調査・検討しながら実施していきたい。

また、引き続き、巡回パトロールの実施による状況把握に努めるとともに、水害防止・軽減に取り組んでいきたい。



東洋・歌露地区の災害現場は、法面の地滑りによって配水管が破損し、一時30戸が断水となった

この人に聞く

えりも高校3年生 美術部
ほうきん 楓夏さん



Q 絵画に取り組みきっかけは。

A 元々絵を描くのが好きで、えりも高校に進学後、美術部に入りました。特に動物を油絵で描くのが好きです。

Q 趣味、好きなものはなんですか。

A 絵はもちろんのこと、読書も好きでミステリー系を好んでいます。
芸能人では、俳優の西島秀俊さんや綾野剛さんなど演技派が好きです。

Q えりも高校はどうですか。
A 良い環境です。周りの人も皆さん知っているし、先生もとても良い感じですよ。

Q えりもの良いところ、感じたいところは。

A えりもは、景色が良いですね。絵画の題材が沢山あります。写真を撮って描いたりもしています。

感じたことは、えりもの良さをもっとほかの地域の人に知ってもらいたいですね。

Q 進学など、今後は。

A 美術にも関わりつつ、教育系の学校を目指していきたいです。

議会の動き

8月14日	灯台まつり (海上安全祈願祭)
8月31日	日高地区林活議連役員会
9月6日	全員協議会
9月8日	議会運営委員会
9月15日 ～16日	全員協議会・第4回定例会 決算特別委員会 広報広聴常任委員会
9月27日	日高管内町村議会正副議長・ 常任委員長研修会
10月6日	産業民生常任委員会
10月11日	広報広聴常任委員会
10月18日	合同所管事務調査
10月20日	広報広聴常任委員会
10月31日	全員協議会 第12回子ども議会



現在は野鳥をモチーフに大きな作品に挑戦中

宝金楓夏さんは、えりも高校美術部で好きな絵画を思う存分描いています。道が愛鳥週間に募集した令和4年度「野鳥絵画展・高等学校の部」に出展した水彩画「Spring・day」が金賞を受賞。今後の活躍に期待しています。
(取材・橋本)



金賞を受賞した「Spring・day」。小鳥のやさしさと春の息吹が感じられる

編集後記

3年ぶりに開催された「海と山の幸フェスティバル」。秋晴れの中、会場には鮭のつかみ取りの抽選券を求めて長い行列ができ、また、餅まき大会には大勢の子ども達と保護者がやぐらの周りを取り囲みました。いろいろな行事が中止となる中、夏の「灯台まつり」も開催され、大勢の人でにぎわったことは、今後の行事開催の足掛かりになればと思うところです。
年内も残り2か月となりました。今年の冬はインフルエンザとコロナ感染症が同時流行する可能性が高いと言われています。手指消毒とマスク着用の日々は、まだまだ続きそうです。
(竹内)

広報広聴常任委員会委員

- 委員長 橋本 維広
- 副委員長 高松 亮裕
- 委員 竹内 孝文
- 委員 神田 修
- 委員 上野 陽司